

明治大学 2021 年度【夏期】国際化サポート海外留学奨励金 オンラインプログラム報告書

下記のとおり、報告いたします。

研修名	2021 年度夏期エンデラン大学オンラインプログラム
所 属	文学部 文学科 フランス文学専攻 1 年

プログラムで学んだ内容およびご自身の学習成果について記載してください。(250~300 字程度)

このプログラムでは、英語での意見交換や発音、実際のシーンを想定した会話練習など様々なレッスンを受けた。はじめは、何を言ったらいいかわからないし、先生の話していることもろくに聞き取れず、英語でのコミュニケーションを難しく感じた。しかし、毎日毎日わからないなりに取り組む中で、少しずつ自分の英語が通じるようになることへの喜びが得られた。また、英語を話すことに慣れてくると、もっときれいに発音することやよりネイティブらしい話し方などをできるようにになりたいという欲が出てきた。また何よりも、英語を話すことを楽しいと感じられたことがこの3週間のプログラムでの自分の成長だった。

バーチャルアクティビティへの参加等、現地の学生との交流や授業以外の活動において、どのような経験を得ることができたか記載してください。(250~300 字程度)

週に2回、エンデラン大学の学生と交流する機会があり、向こうの学生さんの、意識の高さに驚かされることもしばしばあった。フィリピンの伝統的な食文化や音楽、服、政治、言語、国家体制にまでわたってとても詳しく説明してくれた。最後の交流では、私が日本文化について紹介することになったが、正直どう話せば伝わるのか、何を知って欲しいかが自分の中で明確になっておらず、中途半端なものになってしまった。ただ、向こうの学生さんの助けもあって、フィリピンについてたくさん学ぶことができたし、日本のまんがやアニメ、食べ物、観光地などについて話が盛り上がってすごく楽しかった。また、相手の学生は英語とタガログ語と中国語をすでにマスターしており、話す相手によって使い分けていると聞き、私もより多くの言語をマスターしたいと強く感じた。また話す機会のために、まずは日本のことについて英語で話せるようにより深く自国のことを知っていこうと考えている。

オンラインプログラムに参加して感じたメリット・デメリットについて記載してください。(250~300 字程度)

オンラインプログラムのメリットは、実際の留学と違って非常に安く生の英語を学べることだ。実際に現地に行くとなったら授業料以外にも、滞在費や交通費、食費、事前準備などどうしても高額になってしまう。しかし、オンラインではパソコン一台と通信環境さえあればすぐに始められるし手軽に留学体験ができる。また、エンデラン大学のプログラムは午前三時間マンツーマンで先生の授業を受けることができ、午後は四人グループのレッスンや現地の学生との交流があるため、日本にいながらもすごく中身の濃い留学ができた。

デメリットとしては、時々通信環境の乱れから、授業の中断が起こる点だ。また、たださえ英語でコミュニケーションを取るのに相手と画面越しで話すことになるため、直接会って話すよりはやりづらさを感じることもあった。しかし、毎日授業を受ける中でお互いのことを知っていくにつれて仲良くなり、最後の授業では先生も私も感極まって涙が込み上げてきてしまった。限られた時間の中でとても有意義に過ごせたと思う。

今後の展望・目標について、プログラム参加前と後での変化も含め記載してください。(250~300 字程度)

プログラム参加前は、「夏休み何もせずに終わるのももったいないから」とそんな軽い気持ちで申し込むことを決めた。しかし、この留学を経験したことで明らかに1か月前よりも英語に対して、また学ぶということに対して前向きになれたと思う。単純だけれども、もっと英語を話せるようになりたいと思った。私は「英語が得意ですか」、「英語が話せますか」と聞かれれば、「いや…」と否定的な答えばかりしていて、英語で会話なんてできないと思い込んでいた。だが、英語でのコミュニケーションは上手く話せるかどうかの話だけではなく、お互いが足りないものを補い合って成り立たせるという形もあるのだと知った。今回は、私の拙い英語を相手が一生懸命理解しようとしてくれたし、私も何とか伝えようとジェスチャーなども使って精一杯表現したことで、相手に自分の英語が通じる喜びを感じられた。そのうえで今後は、相手に助けってもらってばかりの英語から、もっとステップアップして対等に相手と話せるようになりたいと思った。このプログラムを終えて、大学で行われる英語関連のイベントやボランティアに申し込んでみたのが目に見える私の英語に対する向き合い方の変化だと思う。

【注意事項】提出された報告書は、次年度以降の短期海外研修の募集および未来サポーター募金事業の広報を目的に、原則として当原稿をそのまま外部に公開いたします(学生番号、性別、生年月日、連絡先は公開しません)。